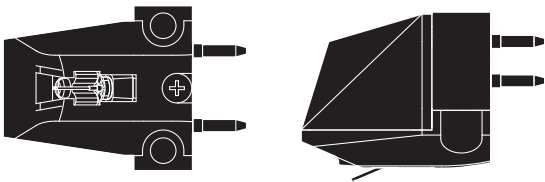


## 取扱説明書

### 空芯MC型ステレオカートリッジ

## AT50ANV MC



お買い上げありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

### 特長

#### ●創立50周年記念モデルとして開発した空芯MC型

本製品は創立50周年記念モデルとして開発された空芯MC型カートリッジです。  
当社従来機種は、コイルの巻枠に磁性体を用いた鉄心型のMC型カートリッジですが、本製品はコイルの巻枠に新開発純チタン非磁性アーマチュアを採用しています。そのため、空芯型特有の非常にナチュラルで透明感のある音質と立体的な音場表現を得意とします。  
さらに、コイル断面積を約8倍に高め（当社従来比）、空芯MC型でありながら0.12mVの出力電圧を獲得しました。

#### ●磁気エネルギーを最大に高める新設計磁気回路

本製品の磁気回路は、体積比で2倍に相当（当社従来比）する大型サイズのネオジウムマグネットを採用しました。（最大エネルギー積、BHmax:50[kJ/m<sup>3</sup>]）  
マグネットの周囲に配置されるパーメンジュール材を用いた磁気回路部品も新規に設計し、コイルギャップ部の集中磁界を最大限に強化しました。  
この磁気回路は出力電圧の増加のみならず、従来の空芯MC型の弱点といわれる中低域の再生能力も改善し、安定した帯域バランスを実現しました。

●特殊ラインコンタクト針とφ0.26ソリッドボロンカンチレバー  
スタイラスチップはAT-OC9Ⅲに採用された先端曲率半径40μm×7μmの特殊ラインコンタクト針をφ0.26ソリッドボロンカンチレバーへ埋め込み接着し、針先で読み取られた音楽信号を正確に発電コイルに伝えます。

#### ●純チタン削り出しベースを採用

磁気回路と振動系を支えるベース部には高精度純チタン削り出し材を採用し、安定した再生能力を支える強固な土台としての役割を果たしています。

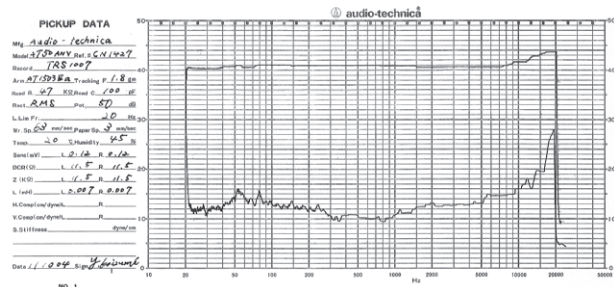
#### ●不要な寄生共振を抑えるハイブリッドボディ

ハウジングにはアルミ削り出し材、カバーに硬質樹脂材を用い、寄生共振を分散させクリアな音質を実現しています。

#### ●クワトロハイブリッドリード線を採用

リード線には金クラッド、7N-OFc、PCOCC、OFcをバランス良く配合したクワトロハイブリッドリード線を採用し、カートリッジ本体との理想的なバランスを追求しています。

#### ■周波数セパレーション特性



## 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

**警告** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

**注意** この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

### 警告

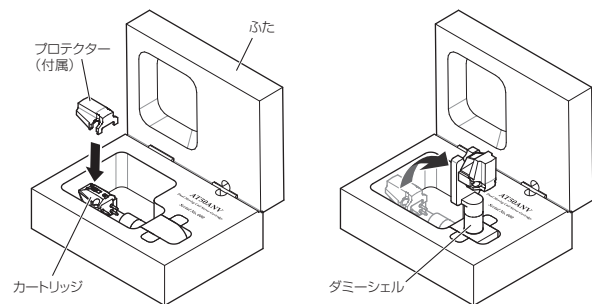
- 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない  
事故や火災の原因になります。
- 幼児の手の届く所に置かない  
事故や故障の原因になります。

### 注意

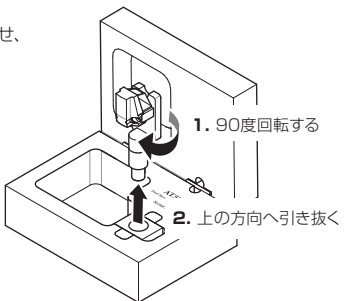
- 紫外線(直射日光・蛍光灯)の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所、乾燥している場所に置かない  
故障や不具合の原因になります。また、ケース(木箱)の変形・変色する恐れがあります。
- 振動系は指で触れない  
故障の原因になります。
- 分解や改造はしない  
故障の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
故障の原因になります。

### ケース(木箱)からの取り外しかた

- ①ケースのふたを開け、カートリッジに付属のプロテクターを装着します。
- ②ダミーシェルとカートリッジを持ち上げます。



- ③ダミーシェルを90度回転させ、上の方向へ引き抜きます。



- ④付属のマイナスドライバーを使用して、カートリッジをダミーシェルから取り外します。  
取り外す際、カートリッジの針先を痛めないよう充分に注意してください。

※ケースにはヘッドシェル(当社製)を取り付けた状態で収納することができます。  
※本製品のケースは木製のため、下記の環境に注意して保管してください。  
■高温多湿 ■乾燥 ■紫外線(日光、蛍光灯)  
※ケースに保管する際は、必ず付属のプロテクターを装着してください。

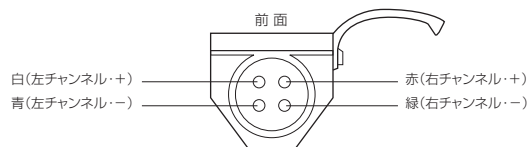
### 使いかた

\*針部分は大変デリケートです。取り扱いには充分ご注意ください。

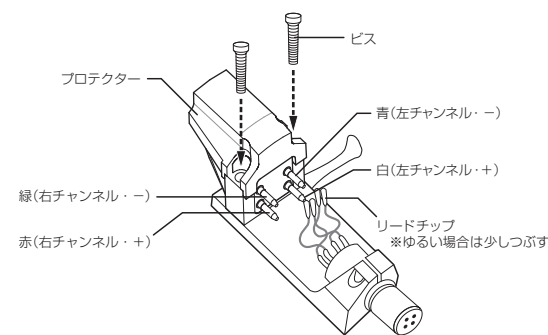
①ヘッドシェルに取り付けます。  
下図のように振動系を痛めないよう、透明なプロテクターをかぶせたまま取り付けます。ピスは仮締めしておきます。

②出力端子の極性に注意してリードチップを接続します。  
ユニバーサルアームのシェルリード線は、下図のように配列されています。カートリッジの出力端子へ、同じ色のリード線を接続します。リードチップが緩いときは、少しつぶしてから行なってください。接続後、プロテクターを取り外します。

\*出力端子にはハンダなどの熱を絶対に加えないでください。  
\*付属のリード線をご使用になると最高のマッチングが得られます。



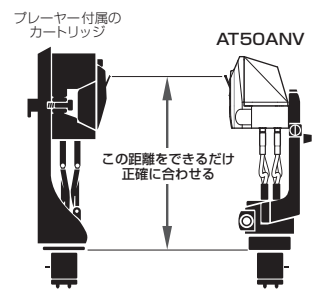
前から見たシェルリード線の配列(ユニバーサルアームの場合)



- ③カートリッジの取り付け位置を正確に決めます。(オーバーハングの調整)

アームまたはプレーヤーシステムの説明書に従ってオーバーハングの調整をします。不明な場合は、プレーヤーに最初から付いていたカートリッジの針先位置に合わせてください。(右図)

\*誤差が大きいと音質が劣化しますので、できるだけ±1mm以内に揃えてください。



\*調整後、ピスを左右均等になるように本締めします。

- ④針圧を調整します。

本製品の適正針圧は1.6~2.0gで、標準値は1.8gです。使用条件やお好みによって、適正值の範囲内で針圧を調整してご使用ください。

- ⑤アームの高さを調整します。

ヘッドシエルの底面とレコード面が横から見て平行になるように、高さを調整してください。アームの高さが適切でない時、カートリッジのボディがレコードに当たり、音質が劣化することがあります。

\*接続する機器によっては、アームの高さを調整できない機器もあります。

- ⑥アンプとの接続にはトランスかヘッドアンプ、もしくは単体フォノイコライザーが必要です。

本製品の音質を活かすため、アンプにフォノ(PHONO)入力(MCポジション)がある場合はそのまま使用することもできますが、昇圧トランス(別売)かヘッドアンプ、またはフォノイコライザー(別売)の使用をおすすめします。接続については、接続する機器の取扱説明書もご確認ください。

\*本製品は、当社従来品のMCカートリッジと比べ出力電圧が低いため、音量が小さく感じられることがあります。

- ⑦針先をいつもきれいにしておいてください。

針先にごみや汚れが付着した場合は、付属のブラシできれいにしておいてください。汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー(別売)をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。カートリッジをアームから外したときは忘れずにプロテクターを取り付け、アンプなどの熱源から離して保管してください。

#### 針先クリーニングのしかた

ブラシは必ずレコードの進行方向に動かしてください。



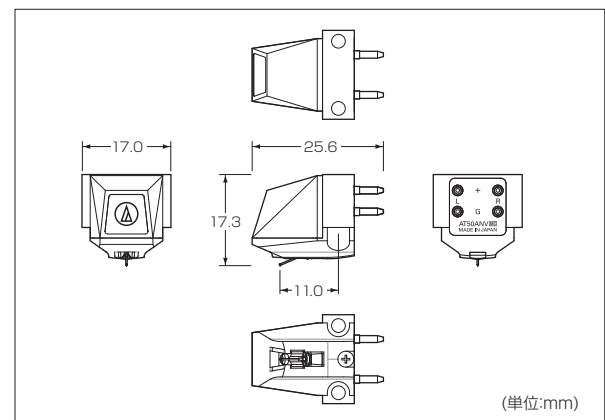
- ⑧針交換はカートリッジ全体をお取り換えします。

ご使用済みのカートリッジを販売店へお持ちください。  
本製品または当社販売中のMCカートリッジの中から、ご希望の製品を針交換価格でご提供させていただきます。なお、本製品の生産終了後については、販売中のMCカートリッジの中からそれぞれの製品の針交換価格にてご提供させていただきます。あらかじめ、ご了承ください。

| AT50ANVの針交換価格 ¥OPEN |  |
|---------------------|--|
| テクニカルデータ            |  |

|                |                                      |
|----------------|--------------------------------------|
| 型式             | : 空芯MC型                              |
| 再生周波数範囲        | : 15~50,000Hz                        |
| 出力電圧           | : 0.12mV(1kHz、5cm/sec.)              |
| チャンネルセパレーション   | : 30dB(1kHz)                         |
| 出力バランス         | : 0.5dB(1kHz)                        |
| 針圧             | : 1.6~2.0g(1.8g標準)                   |
| コイルインピーダンス     | : 11.5Ω(1kHz)                        |
| 直流抵抗           | : 11.5Ω                              |
| 負荷抵抗           | : 100Ω以上(ヘッドアンプ接続時)                  |
| コイルインダクタンス     | : 7μH(1kHz)                          |
| スタチックコンプライアンス  | : 35×10 <sup>-6</sup> cm/dyne        |
| ダイナミックコンプライアンス | : 10×10 <sup>-6</sup> cm/dyne(100Hz) |
| 針先形状           | : 特殊ラインコンタクト                         |
| カンチレバー         | : φ0.26ソリッドボロン                       |
| 垂直トラッキング角      | : 23°                                |
| 外形寸法           | : H17.3×W17.0×D25.6mm                |
| 質量             | : 10.0g                              |

●付属品: 非磁性体ドライバー×1、ワッシャー×2、プロテクター×1  
カートリッジ取り付けビス 12mm×2、18mm×2  
ナット×2、ブラシ×1、クワトロハイブリッドリード線(AT6106)×1  
(改良のため予告なく変更することがあります。)



(単位:mm)

#### アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)  
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。  
●相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)  
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp  
●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)  
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp  
●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/at/support/

#### 株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市成瀬2206 http://www.audio-technica.co.jp

112300570